



学校だより 7月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番
TEL (811) 6710

「スポーツ」から得られるもの

副校長 山下 謙一郎

夏空がまぶしく感じられる季節となりました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、いつも学校教育へのご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、今年はオリンピックと並ぶ4年に一度のスポーツの祭典が行われています。FIFAワールドカップロシア大会です。今ではワールドカップの本大会に日本が出場するのは当たり前のようになっていますが、この大舞台に日本が出場するまでには実に長い道のりがありました。日本がワールドカップの地区予選に初めて参加したのは1954年。そして、初めて予選を突破して本大会に出場できたのが1998年のフランス大会。予選で悔しい思いを実に約40年間もの間繰り返してきました。その中でも、よく話題に上がるのが1994年のアメリカ大会への出場をかけたアジア最終予選の「ドーハの悲劇」です。

この試合に勝てば、念願のワールドカップ本大会に初出場。日本中が注目していた試合でした。日本が2-1でリードして後半のアディショナルタイム。誰もが日本の勝利を確信し、試合終了のホイッスルを待っていたとき、まさかの同点ゴールを許しました。そのまま試合終了。ほぼ手に入っていたものがスルリとこぼれ落ちた瞬間でした。

それから4年後。「ジョホールバルの歓喜」と呼ばれるマレーシアでの最終予選で、日本はワールドカップ本大会への出場権を手に入れます。

この時の試合もとてもスリリングであり、日本中が手に汗を握って見ていたはずでした。

さて、サッカーの話をしてきましたが、「スポーツ」にはどんな力があるのでしょうか。文部科学省のホームページには、「スポーツは心身の健全な発達を促し、コミュニケーション能力を育成する。スポーツは地域の一体感や活力を醸成する。スポーツは経済的効果を生む。スポーツは国際的友好と親善に資する。」とあります。また、スポーツは自分が楽しむだけでなく、見て楽しむ、さらには支援するなど、多様な関わり方ができます。体を動かす爽快感。目指していた動きができる達成感。健康を保持増進する。楽しさや喜びを感じる。スポーツのもつ意義はとても大きなものがあると言えるでしょう。

緑園東小学校の休み時間。職員室から校庭を見ると、多くの子どもたちが外で元気に遊んでいます。暑さに負けず、かけっこをする子、ジャングルジムで鬼ごっこをする子、バスケットボールで試合を楽しむ子。体を動かし、汗をいっぱい流した後、校舎に戻る子どもたちの顔はみんなキラキラ輝いています。私も、中休みや昼休みには時間を見つけて6年生に交じってバスケットボールをしています。ほんの少しでも、体を動かしてコミュニケーションをとることで、自分も活力を得ています。これからも「スポーツ」を通して、子どもたちが健やかな成長ができるように支援していきたいと思えます。

